



学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業

小学校・中学校等において個人又は少人数の芸術家を派遣し、子供たちに対し質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、芸術家による表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等を実施する事業です。



個人又は少人数の
芸術家を派遣

芸術家の派遣事業



障がいに対応した
取り組みで公演

ユニバーサル公演事業



子供たちの豊かな創造力・
コミュニケーション能力を養う

コミュニケーション能力向上事業



[日本芸術院会員]が
講話や実技指導

子供夢・アート・アカデミー



地域の文化施設を利用
複数校での合同開催を実施

文化施設等活用事業



詳しくは、別冊パンフレットをご覧ください。



ホームページはこちら

お問い合わせ先



独立行政法人
日本芸術文化振興会

<https://www.ntj.jac.go.jp>

*実施主体について
「舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)」は独立行政法人日本芸術文化振興会が、「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業」は文化庁が実施する事業です。

未来をつくる、出会いがある。

舞台芸術等 総合支援事業

(学校巡回公演)



舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)

独立行政法人日本芸術文化振興会の採択を受けた各分野(音楽、演劇、舞踊、伝統芸能、メディア芸術)のトップレベルの団体が、実施校において実演芸術の公演・メディア芸術の体験プログラムを予算の範囲内で実施します。

また、公演とは別に、公演に関するワークショップを行います。ワークショップでは、公演の鑑賞や体験をより効果的なものとするため児童・生徒に対して鑑賞指導や実技指導、共演の練習等を行います。





舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)

独立行政法人日本芸術文化振興会が選定した文化芸術団体が、学校の体育館等でオーケストラ、演劇等の巡回公演を行います。

本公演前に文化芸術団体が実施校へ赴き、鑑賞指導や実技指導を行うワークショップでは、公演の鑑賞や児童・生徒との共演をより効果的なものとすることができます。

普段授業などで使っている体育館が、工夫次第で素晴らしい舞台へと変わっていく様子を体感することができます。



児童の参加例



ワークショップ例



ポイント

1 選定されたトップレベルの芸術団体

独立行政法人日本芸術文化振興会が選定したトップレベルの文化芸術団体の中から、来てほしい団体を選べます。

2 事前に学べるワークショップ

本公演前にワークショップを行い、知識を深めることができます。

3 児童・生徒も参加する本公演

児童・生徒が一緒に公演に参加することで、理解と関心を深めることができます。

実施概要

対象	小学校／中学校／義務教育学校／中等教育学校(前期課程)／特別支援学校(小学部・中学部)
実施回数	ワークショップ 1回／本公演 1回
公演団体	独立行政法人日本芸術文化振興会が選定した文化芸術団体

実施例 1 // オーケストラ



本公演プログラム

- オープニング曲目演奏
- 楽器紹介
- 参加体験型プログラムを交えながら複数曲を演奏

「拍子」に着目したプログラム構成を特色とし、2拍子～3拍子～4拍子～5拍子～変拍子と、それぞれ楽曲を取り上げていきます。拍子と曲想の関係性やそれらの音楽が持つ特質を感じ・学ぶことができます。参加型のプログラムでは、代表生徒による指揮者体验や、かけ声や歌での全員参加が可能です。

実施例 2 // 児童劇



本公演プログラム

- アンデルセン童話を原作とした児童劇

事前のワークショップでは、長さの異なる棒・輪・ボールを使って複数人で動物や風景を描く「アニメイム」に挑戦します。本公演ではアンデルセン童話を原作とした短い劇の他、子供たちも舞台に参加して「アニメイム」に取り組みます。想像する楽しさから創造する面白さを知り、身近なもので工夫して作る楽しさを感じただければと思います。

実施例 3 // 演劇



本公演プログラム

- ドン・キホーテ

全編上演するには数時間かかる『ドン・キホーテ』を、身体表現に富んだ1時間の作品に上げています。

舞台と客席の境界線を取り払い、同じ目標で行くことことで、舞台と客席という関係性からは生まれない新たな発見があります。また、セリフを使わず、パントマイムをベースにした演出で上演することで、児童・生徒の想像力をかきたてます。

実施例 4 // バレエ



本公演プログラム

- 第1部:バレエってなんだろう
- 第2部:舞台を見てみよう「シンデレラ」



第1部ではバレエの成立立ちや基礎知識を学び、幾つかのシンプルな動きの体験を通して、バレエをより身近に感じる機会を作ります。第2部では、第1部で体験したバレエの動きが、実際の作品ではどのように使われ、表現されているか、楽しく鑑賞しながら学ぶことができます。代表生徒が参加するシンもおり、バレエ団とともに舞台を創りあげる一体感を味わうことができる構成としています。

実施例 5 // 能 楽

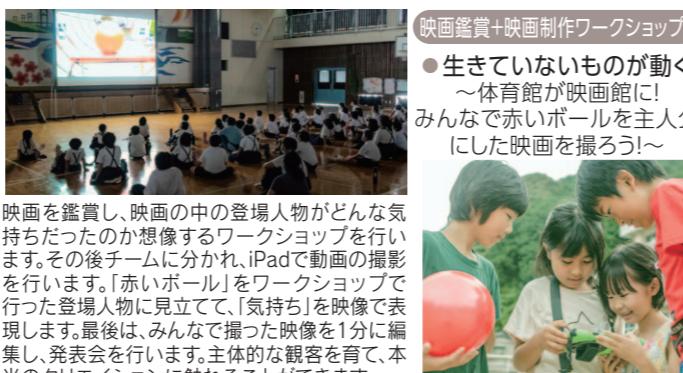


本公演プログラム

- 狂言:「柿山伏(かきやまぶし)」
- 能:「小鍛冶(こかじ)」

事前のワークショップでは、能楽の基礎知識や歴史を学習します。本公演では、通常理解することが難しい言葉遣いについて字幕(解説)付きで上演を行います。また、事前ワークショップ時に習った地謡の一節を全員で詠う等、参加型のプログラムを交え、より深い理解や体験につながる工夫をしています。

実施例 6 // 映像

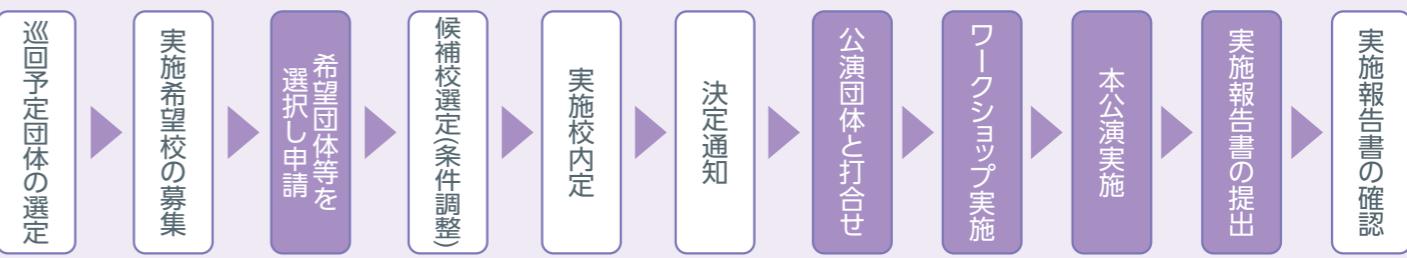


映画鑑賞+映画制作ワークショップ

- 生きていながら動く!～体育館が映画館に!みんなで赤いボールを主人公にした映画を撮ろう!～

映画を鑑賞し、映画の中の登場人物がどんな気持ちだったのか想像するワークショップを行います。その後チームに分かれ、iPadで動画の撮影を行います。「赤いボール」をワークショップで行つた登場人物に見立てて、「気持ち」を映像で表現します。最後は、みんなで撮った映像を1分に編集し、発表会を行います。主体的な観客を育て、本当のクリエイションに触れることができます。

実施までのながれ 舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)



部分は学校が関係する手続きです。

※具体的なスケジュールについては、HPに掲載予定の学校募集要領をご覧ください。

学校巡回公演実施のプロセス

バレエ公演の例 ワークショップ実施日が異なり、本公演舞台仕込みが前日となる場合

ワークショップ実施



ワークショップ終了後、片付け撤収

本公演の舞台仕込み（前日の場合）



公演終了後、片付け撤収

バックステージツアー実施



本公演実施



※上記内容はバレエ公演の一例です。各公演団体により内容が異なりますので、詳しくは公演団体との打合せて実施内容を決定いたします。